



日本洋書協会

JAPAN ASSOCIATION OF INTERNATIONAL PUBLICATIONS

MAR 2016
REPORT MAGAZINE

会報誌 vol. 50 no. 2

Published by JAIP 1-1-13-4F, Kanda-Jimbocho, Chiyoda-ku, Tokyo 101-0051

e-mail:office@jaip.jp

理事会報告 2016年2月24日(水)

出席：相澤、松村、細谷、小松崎、深町（総務委員長・事務局）

理事会前に、丸善雄松堂(株)から東端、土方、讀井の三氏が見え、経営統合により雄松堂書店が消滅した旨の説明を受けた。

1. 予算状況

事務局長から、一部事務所移転による予算超過費目があるが、概ね順調に推移しているとの報告があり、了承された。

2. 入会審査

クロニクルブックス・ジャパン(株)（正会員）と長戸恵子氏（個人・元伸興通商）の入会を承認した。

3. 退会関連

雄松堂書店と日本文献出版から出された退会届を受理した。

4. 丸善、雄松堂書店の合併に伴う理事の対処

雄松堂書店が無くなったため、理事1名を選任する必要がある。前回の選挙で次点だった(株)東亜ブック

をお願いすることにし、結果快諾を得た。鶴竜次氏が就任する。

5. 定款改定

事務局職員規定中、事務局長と事務職員の定年をそれぞれ70歳、65歳に延長することとした。この項は理事会決議として総会の報告事項とする。

6. 委員会報告

・総務委員会

3月に来期予算編成を中心とした委員会を開催する。

・事業委員会

TIBFは今年は9月に日曜を含む3日間開催される。

・メディア広報委員会

ダイレクター2016年版の制作に入る。広告等協力頂きたい。

・文化・厚生委員会

3月10日に行われるアート鑑賞会への動員をお願いする。

7. 次回の理事会は3月29日(火)に行う。

2016年新年賀詞交歓会

今年の新年賀詞交換会は1月7日(金)に国際文化会館本館宴会場(港区六本木)にて会員39社95名の方にご参加いただき盛大に行われました。午後6時過ぎより文化厚生担当理事の細谷氏(ビューローホソヤ)の開会の挨拶で始まり、理事長の相澤氏(極東書店)より乾杯のご挨拶をいただいてパーティーは進みました。年々若い方の参加が多くみられ、たくさんの美味しい料理と多種にわたるドリンクが用意される中、皆さん最後まで食事しながらアルコールもすすみ、会話が弾んでいっしょに楽しみました。パーティーも中盤を過ぎた頃、新規会員の方々(フランス図書、エーケーブックス、学術著作権協会、個人会員の渡邊正憲様)にご挨拶をいただきました。中締めは最年少理事になられました深町氏(トムソン・ライター・プロフェッショナル)の本締めで8時過ぎに閉会となりました。最後に今回も含め



毎回国際文化会館での設定のお手配をいただいておりますユサコの玉井様に感謝とお礼申し上げます。

(RT 記)

我が社・わが街

第3回 京都 烏丸御池河原町近辺

丸善雄松堂株式会社

法律情報部 箕輪 伯夫

株式会社雄松堂書店は1932年の創業以来、稀覯書、学術雑誌バックナンバーやその複製版をはじめとして、マイクロフォーム、海外法務文献、オンライン・データベースや電子ブックも主要取扱商品のレパートリーに加えながら、人文社会科学分野全般にわたりさまざまなメディアの学術文献の輸入販売や出版を続けてきた。このたびその80年を超える歴史に一区切りをつけ、2016年2月1日をもって丸善株式会社と統合し、丸善雄松堂株式会社として新たな歩みを始めるに至ったが、今になってみると雄松堂書店はなんとユニークな会社であったことか。新刊書が主要商品でなかっただけでなく、販売に力を注いだタイトルも、大半がニッチなもののばかり。私自身はこれまで29年間、専ら仕入業務を担ってきたが、思い返すに、「良い商品を見つける」ということは常に「他業者が目をつけにくいであろう面白いタイトルを見つける」ということであった。他業者が扱う商品は自分たちの商品とは認めず、他業者が同じ商品を販促していると、がっかりしたものである。いつしかそれが当たり前になっていた。

雄松堂書店京都営業所は、雄松堂書店が1932年に創業して35年の節目に当たる1967年に開設された。その後何度かの移転を経て、2003年に柳馬場御池の京都朝日ビルディングに事務所を構えた。東京勤務であった私は、京都営業所を訪れるときは必ず東京から夜行バスに乗って日曜日の早朝に京都に到着し、丸1日観光する時間をとったものだ。歩きすぎてアキレス腱が痛くなったことを覚えている。果たしてそれから6年後の2009年に私自身も京都に異動となった。

京都営業所が面していた御池通は京都の中心的なビジネス街のひとつで、平日は結構な人通りがあるものの、休日は閑散としている。その近くにある四条通や河原町通は京都きっての繁華街で、観光シーズンにはまるで渋谷センター街のような込み具合となる。逆に三条通はどことなくおしゃれて落ち着いた雰囲気があり、旧日本銀行京都支店（今は京都文化博物館別館）や中京郵便局などの近代建築がところどころにたたずんでいる。三条通を東に進むと、寺町通と西京極通が交差する地点に出

てくる(写真①)。その先には河原町通、木屋町通があり、先斗町の入り口を経て三条大橋にたどり着く。三条大橋は東海道五十三次の西の起点であり、日本で最初の駅伝競走のスタート地点でもあった。さらに東に進むと、知恩院、平安神宮、東山動物園、南禅寺や琵琶湖疏水のインクラインを臨むこともできる。私自身は青蓮院をよく訪れ、縁側で庭園を眺めながら考え事をしたものだ。また、祇園の花見小路を抜けたところにある建仁寺で庭を愛でるのも好きだった。



①三条通のアーケードへの入り口

松堂書店京都営業所があったエリア——御池通、烏丸通、四条通、川端通に囲まれたその一帯は、南北に姉小路通、三条通、六角通、蛸薬師通、錦小路通が並んでおり、「あねさんろっかくたこにしき」という通り名の唄で親しまれるほど、昔からたくさんのお店が立ち並ぶ賑やかな場所だ。京都に本店のある「イノダコーヒー（三条店）」(写真②)、また関西料理のメニューが豊富な居酒屋店「御池酔心」には私たちもよく通ったものだ。



②イノダコーヒーと三条通

このエリアの東側には京都きっての繁華街である河原町通が南北に通っている。河原町三条を少し南に進んだと

ころに、昨年8月にファッションビルが新装オープンし、その地下階に「丸善 京都本店」が復活した(写真③)。梶井基次郎の小説『檸檬』の舞台となった丸善京都店が復活したことは大きな話題となった。



③京都 BAL と河原町通

河原町通の東側には木屋町(写真④)があり、そこに元雄松堂書店の社員が始めた日本酒バー「あさくら」という店がある。私は常連としてよく入り浸っていた。店主が選んだこだわりの日本酒は、それまで日本酒が苦手だった私を完全に愛飲家にしてくれた。店主が企画する京都御所での花見会などにも参加したものだ。ちなみに私がこの店で必ず飲む日本酒は広島「竹鶴」という古酒。その蔵元はNHK朝ドラの「マッサン」の舞台となったところで、ニッカウイスキーの創始者、竹鶴政孝の実家である。



④木屋町と高瀬川

河原町通の西側には、寺町通と新京極通が並行して通っている(写真⑤)。いずれも店舗が集中するアーケードで、観光客や修学旅行生で賑わっているが、この辺りにも名所旧跡がひっそりとではあるが存在する。新京極通を南から行くと、錦天満宮、蛸薬師堂、誠心院、誓願寺、矢田寺や本能寺など。ちなみに、本能寺はあまりにも有名であるが、本能寺の変で信長が自刃した本能寺はさらに西方向の二条城の南側にあった。その事件で焼失したあと、豊臣秀吉が今の地に移したのである。



⑤新京極通。休日には大賑わいになる

ところで、雄松堂京都営業所が御池通沿いのビルの5階にあったのは、今思いおこしても大変な幸運だったと思う。毎年7月に催される祇園祭の山鉦巡行をまさに眼前に眺めることができたためである(写真⑥)。前夜祭が始まると数多くの夜店が出て、御池通は大変華やいだ雰囲気となる。伝来の屏風やタペストリーなどの宝物を展示している各山鉦町の町会所は、それぞれが小さな美術館のようで大変魅力的だった。



⑥事務所の窓から

この他にも、この境界に関するエピソードは私の思い出と共に数えきれないほど存在する。

しかし、その事務所も1月末日をもって閉じられた。旧雄松堂京都営業所の業務は、太秦天神川にある丸善雄松堂京都支店に移った。そして私自身は東京に異動となってしまった。これから東京での新しい生活が始まるわけだが、長年慣れ親しんだ京都や近畿の諸境界のことは決して忘れないだろう。どこに行っても誰とでもいつのまにか仲間になってしまうこの空気がある限り、これからも思い立ったらふらっと京都を訪れて、我が家のようにまったりと過ごすことだろう。

編集部から

ページの制限があり、一部割愛いたしました。全文はHPに掲載いたします。

経営統合のご挨拶

この度、「丸善株式会社」と「株式会社雄松堂書店」は、2016年2月1日付にて、丸善株式会社を存続会社、株式会社雄松堂書店を消滅会社とする合併により経営統合し、同時に統合後の丸善株式会社の社名を『丸善雄松堂株式会社』と変更いたしました。

本統合により、これまで以上に両社の強みを効果的に発揮できる組織体制を構築し、教育機関や研究者の皆様をはじめとするお客様に一層価値あるコンテンツやサービスのご提供を目指して参る所存でございます。引き続きのご愛顧ご協力を賜りたく、何卒よろしくお願い申し上げます。

なお統合新会社の主な事業所は以下の通りです。

【浜松町本社：東京都港区海岸 1-9-18】

学術情報ソリューション事業部

<営業> 東京第一支店、東京第二支店、東京第三支店、東日本特販営業部、首都圏法律営業部

<企画・仕入> 電子・ソリューションセンター、外国雑誌eリソースセンター、仕入物流センター

【四谷本社：東京都新宿区四谷坂町 10-10】

<営業> 卸営業部

<企画・仕入> 洋書センター、開発部、古書部、法律情報部、国際部

【支店・営業所網】

札幌支店	札幌市清田区北野 6 条 1-4-60
仙台支店	仙台市青葉区大町 2-2-10 仙台青葉ウイングビル A 棟 5 階
盛岡営業所	盛岡市本町通 1-9-14 JT 本町ビル 2 階
名古屋支店	名古屋市中区栄 1-24-15 JPR 名古屋伏見ビル 5 階
金沢支店	金沢市西念 1-1-3 コンフィデンス金沢
西日本特販営業部	京都市右京区太秦上刑部町 10 番地 DNP 京都工場内
京都支店	京都市右京区太秦上刑部町 10 番地 DNP 京都工場内
大阪支店	大阪市中央区久太郎町 2-5-28 久太郎町恒和ビル 4 階
神戸支店	神戸市灘区岩屋南町 4-36 岩屋ビル
岡山支店	岡山市北区表町 1-3-50
松山営業所	松山市緑町 2-10-10 FURUMOTO ビル 1 階
広島支店	広島市中区中町 7-23 住生平和大通り第 2 ビル 6 階
福岡支店	福岡市南区清水 2-15-11
長崎営業所	長崎市坂本 1-8-33
熊本営業所	熊本市中央区新屋敷 2-17-17 アメニティ新屋敷 1 階
沖縄営業所	那覇市泉崎 1-12-7 不動産会館ビル 6 階

※(株)雄松堂書店京都支社は、丸善雄松堂(株)京都支店へ移転いたしました。

丸善雄松堂株式会社